

「問い続けること」

社会福祉学専攻 笠松 剛士
(平成 25 年度修了)

何とか学位が取れた者です。仕事をしていて論文なんて生まれて初めて、右も左もわからなかったのですが、何とか学位を頂けました。これで学問することが終わりではなく、このまま一生やっていくものであると痛感しています。学位が取れたから終わりでは、一体誰の為の、何のための学問であるかわかりません。そんな自分がどのようにして進めていったか、一部を述べたいと思います。

<読むということ>

恥ずかしながら、私は本や論文などと無縁の男でした。しかし、修士論文を書くためには先行研究を探さなければならないですし、それを読み込んでいかなければなりません。正直初めのころは何をどうしてよいかわからず、ただやみくもに大学の図書館に足を運び、検索し、とにかく本や論文を読む習慣をつけようと思いました。読むのに本当に時間がかかるし、著者が言わんとしている事は何なのかを理解することにも時間がかかりました。それでも時間をかけて行いました。根気よく、淡々と・・・。

それである事に気づきました。論文や文献が、月日が経つことによって違うものに見えてくる時があるのです。あたり前ですが、同じ論文や文献は変化しません。しかし、変わって見える。著者の言わんとする事に深みが増して見えてきます。新しい発見があったり、他の文献と繋がったりすることがあります。読むということ、読み続けるということはこういう事だと気付きました。だからこそ、とにかく読むことです。量も大切ですが、読めるようになるまで読むことも大切だと感じます。

<探すこと>

論文や文献を探す際は、皆さん周知の通り CINI や OPAC 等のインターネットを駆使して探すと思います。取り寄せもできるので便利なのですが、私は学校が近いという事もあり、学校の図書館に何度も行きました。そうすると、思いもよらない形で本との出会いがあります。自分の探していた文献の隣に、また別の面白い文献を発見することがあります。このようなことがあるから通ってほしいのです。そこからまた違った発想が生まれたりします（あまりこれをすると訳が分からなくなる場合もありますが・・・）。私は本との出会いで頭の中で常に転換が起きました。研究のヒントを探すときは、インターネットと足、両方で探したほうがよいと思います。思いもよらない出会いが皆さんの論文に深みを増す事になるかもしれません。

また、頻繁に図書館に行けなくてもよいと思います。大げさですが、私は四六時中論

文の事を考えていました。息抜きに海に行く時、家族サービスの時、友人とお酒を飲んで
いる時も、必ず論文の事が頭によぎっていました。忘れようと思っても考えてしまいます。
そうすると、日常のちょっとした出来事も深く考えたり、足が勝手に文献に近づく癖がつ
いて古本屋に足が向いたり、研究に関わる地域に足が向くといった事などです。探すとい
うことは、日常生活の中までも自分の研究と繋いで考えていく事なのかもしれません。

最後に

学問を語れる身分ではないですが、時間をかけるということは重要であると私は思いま
す。効率的・能率的にこなす事は確かに大切ですが、そこで目に見えない大切なものを犠
牲にははいけないと思います。時間がかかって、辛くて、面倒なところに大切なものが
必ずあります。また、そのような大切なものは目では見えない可能性が高いです。視覚的
には認識できないけれど、ある事象が大切であるということを自分で認識が出来るよう
になる事も研究する上で非常に重要な事だと思います。それが上記した「読むこと」にも繋
がるかもしれません。

私は、職場で長年シクラメンを作っていました。シクラメンは非常に神経質な花です。
苗の段階から気を配る事の一つに根の張り具合があります。根の張り具合で成長を確認し
ます。けして目で見える葉ではありません。目で見えない根を見る、きれいなしっかりし
た花を咲かせるには根をしっかり張る事の方が重要だと思います。時間、手間、暇、気持
ちすべてを込めて行います。やっている事が本当にこれでよいか不安に駆られる事もあり
ます。でもそれでよいと思います。むしろ、そう思わない方が怪しい。自問自答する、し
かし、自問はするけど自答できないジレンマと戦って私はやっと修士論文を書きあげまし
た。恥ずかしながら小さい不格好な花だったかもしれません。それでも精一杯やった自分
を褒めたいと思います。自分が本気でやったのなら、素直に自分を褒めて下さい。反省も
たくさんしますけど・・・。

こんな私が道に迷いながらなんとか学位を取れたのは、先生方の励ましと、沢山の仲間、
沢山の文献の著者が支えてくれたからです。本当にありがとうございました。そして、皆
さん体調に留意しながら頑張ってください。

今も、上記した習慣が抜けず、図書館に通って文献を漁っています。シクラメンは一
年草ではなく多年草です。また小さくても開花できるように根を張って行きたいと思いま
す。